



アコースティックガラスセンサ

KA-2121

ADPLEX

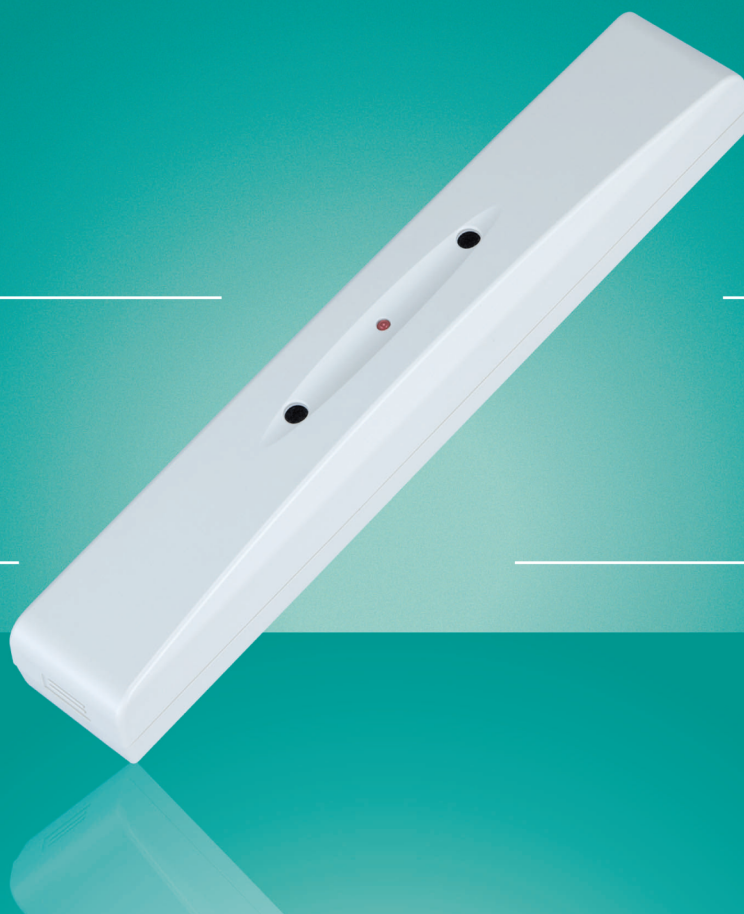
ガラスの破壊音を広範囲にキャッチ
スリムな形のガラスセンサ

アドプレックスⅢ
固有の製造番号を
センターで管理

衝撃音を検知
ガラス破壊時の
衝撃音を検知

スリム型
設置場所を
選びません。

広範囲
1台で広範囲の
エリアを監視



■ ガラス破壊の衝撃音を検知

2つのマイクロホンが、ガラス破壊時の衝撃音を広範囲に検知。

■ アドプレックスⅢ対応

アドプレックスⅢの通信ラインに最大32台まで接続可能。
F-10 2G セントラルステーションでは設置したセンサの製造
番号管理も行なえます。

■ バスライン配線

複数センサをバスライン方式で接続。電源と通信を重畳で
行いますので、配線工事やセンサの追加も簡単です。

■ 35mmのスリム型

天井のカーテンボックスにも入るスリムなデザイン。ガラス
面に直接接着しないので美観も損なわず設置場所を選び
ません。

■ 環境チェック機能

本体カバーを外すと検知感度が約2倍の高感度に。設置前
に警戒エリア内の環境をチェックできます。

■ 自己診断機能

自己診断機能でセンサ内部回路の不具合を未然に検知します。

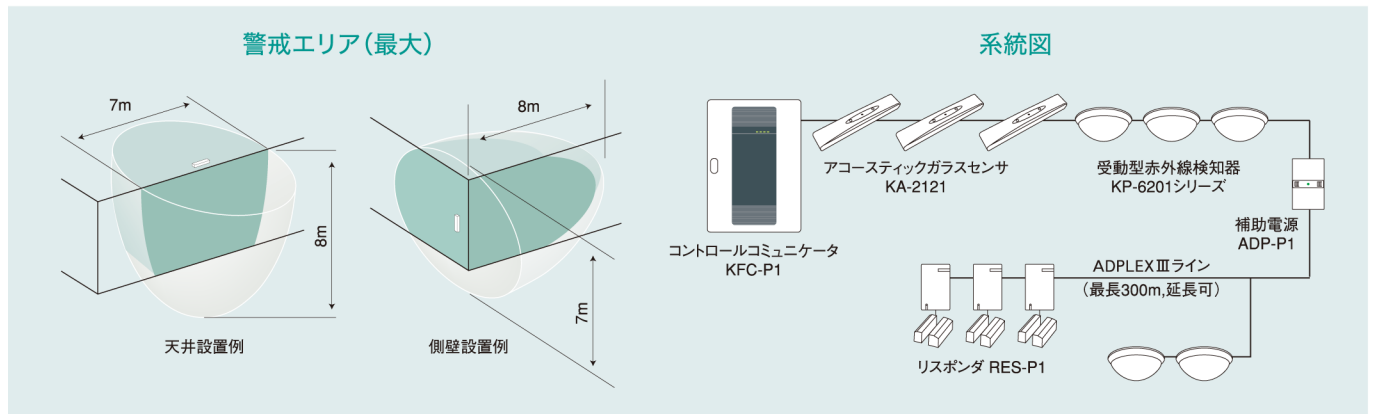


アコースティックガラスセンサ

KA-2121

センサ

■ 警戒エリア・系統図



■ 特徴

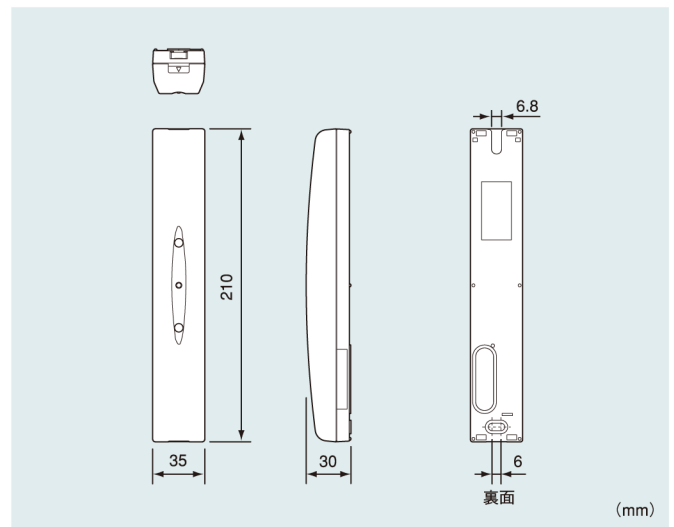
ADPLEX Ⅲ

本センサはADPLEXⅢに対応したガラスセンサです。ADPLEXⅢでは、コントロールコミュニケーターKFC-P1や多重入力装置AI-P1とセンサ間を2芯のツイスト線でバスライン方式で接続し、電源供給と異常信号などの通信を重量で行います。

美観を損ねず広範囲を監視

本センサは警戒するガラス面に近い天井面または側壁面に設置するため、ガラス面の美観を損ねません。また、ドーム型空間で約300m³と広範囲な空間を警戒エリアとしていますので効率的なセンサレイアウトが行えます。

■ 寸法図



■ 仕様

動作電圧 / 消費電流	DC9～18V (テストポイントTP5-6間電圧) / 26mA (最大)	タンバ検知機能	カバーの取外し検知
通信	アドプレックスⅢ多重、1ライン入力 (アドプレックスⅠ,Ⅱ 互換性あり)	検知方式	デュアル・アコースティックエミッション検知方法
表示	アラーム、感度チェック、環境チェック 各ランプ (発光ダイオード)	検知範囲	水平方向7m、垂直方向8m、ドーム形空間約300m ³
周囲温度 / 周囲湿度	-10℃～50℃ / 80%RH以下 (結露しないこと)	機能	タンバ検出機能、ウォームアップ警告機能、自己診断機能、環境チェック機能、感度チェック機能
取付方法	壁面・天井面取付方式、屋内専用	使用線材	2芯ツイスト線 φ0.9mm以上 (CPEV など)
材質	カバー、ベース:ABS樹脂		
質量	約100g		

設置上のご注意

- ※ 本センサは警戒するガラス面より50cm以上離して天井または側壁に設置してください。※ 建物の梁や柱が大きくガラス面より張り出し、センサの死角となるような場所では衝撃音を検知できませんので設置しないでください。
- ※ 同一室内に火災報知器の赤ベルがある場合は、火災設備点検時などにベル音を検知し、誤報の要因となりますので設置しないでください。
- ※ 次のようなノイズ発生源となるような機器の周辺からは3m以上離して設置してください。(空調の吹出口、大きな換気扇、ファックス、黒電話機、呼出ベル など)



安全に関するご注意

製品を安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「設置・運用マニュアル」をよくお読みください。

- 外観及び仕様については、改良のため予告無く変更することがありますのでご了承ください。
- カタログと実際の製品の色については、印刷の関係で多少異なる場合もあります。